



《目

次》

平成11年度総会・懇親会	2
校友会活動の現況をふまえて	3
学部長・総長選出	4
整備中の湘南キャンパス	5
農学校友会（農学科・植物資源科学科）	6
紫友会（農芸化学科）	7
角笛会（獣医学科）	8
満喜葉会（畜産学科・動物資源科学科）	9
いもづる会（食品経済学科）	10
あすなろ会（林学科・森林資源科学科）	11
桜水会（水産学科・海洋生物資源科学科）	12

工学会（農業工学科・生物環境工学科）	13
FT会（食品工学科・食品科学工学科）	14
拓友会（拓植学科・国際地域開発学科）	15
むつあい会（短期大学部農学科）	16
生活環境学科校友会 （短期大学部生活環境学科）	17
応用生物科学科校友会 （応用生物科学科）	18
支部だより	19
校友だより	21
校友会役員・事務局名簿	22

盛大に平成11年度総会・懇親会



ホテルセンチュリーハイアットで開かれた総会

平成11年度総会・懇親会は会則に従い7月第2土曜日の10日15時より新宿ホテルセンチュリーハイアットで開催された。

総会は『天平の間』において木村貞司事務局長の開会宣言に始まり茂澤晃会長挨拶、議長には茂澤会長が選出されたのち議事へと進行した。

議事は平成10年度の一般経過報告、会計決算報告（収入35,391,250円、支出35,391,250円、基金積立金7,027,012円、名簿積立金3,970,282円）に関する報告がなされ、山根勝次監査による監査報告があり承認された。

なお、大事業であった学部校友会創立50周年記念祝賀会の支出は経常費関連として記念品代などで3,748,030円、名簿・記念誌の印刷・製本費などとして16,963,712円、基金積立金より支出した校友会旗作成費・式典祝賀会関連費として7,086,444円を要した。

ついで平成11年度の事業計画に関して会員数72,900人、準会員数7,727人が報告された後、総会、懇親会、会報発行の件などが説明された。それらに必要な予算案として収入は36,903,771円、支出は36,903,771円、基金積立金10,027,012円、名簿積立金4,470,282円の予算案が示され審議の後承認された。

さらに任期満了に伴う校友会役員の改選が行われた。その結果、会長に茂澤晃、副会長に富澤寿樹、近藤良三郎、村田昇、監査に山根勝次、西

山栄一、野田郁夫の各氏が再任された。さらに会長賞選考委員に水野包男、小泉香織、江刺琢磨、事務局長に木村貞司の各氏も同じく再任された。また、会員から新たな世代にむけて校友会活動のさらなる発展を期待する声が出された。

懇親会は『桃山の間』に会場を移し、50余名の来賓と102名の会員を迎え茂澤会長の挨拶の後、来賓として日本大学常務理事山澤新吾先生、日本大学校友会副会長田澤智治先生並びに生物資源科学部長門田定美先生より祝辞を頂戴した。さらに来賓紹介の後、校友会本部事務長森栄一先生の音頭で乾杯が行われ、歓談へと移った。

本年は湘南キャンパスにおいて大建設の行われる年の為か話題の多い会となった。最後は近藤良三郎副会長の閉会の辞でお開きとなった。



名誉会長として挨拶する門田定美学部長

校友会活動の現況をふまえて

日本大学生物資源科学部校友会

会長 茂 澤 杲

平成11年大学では総長選挙が、また、学部では学部長選挙があり、さらに、校友会本部と私達の学部校友会でも、役員改選と続きました。総長選では、瀬在幸安現総長が再選され、学部では、佐々木恵彦教授が新学部長に当選されました。校友会本部では、瀬在良男現会長が再選され、学部校友会では、私が再任されました。なお、3名の副会長・監事が決り新執行部が発足しました。

私は、一層心を引き締めて、魅力ある校友会構築と母校発展のため、直向きに進んでまいります。引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

扱、学部校友会が創立50周年を終えて、はや、1年有余が経ちました。校友会執行部は新たな決意を秘めてこれからの諸活動に敢然と対処してまいります。私は、つねづね校友会に課せられた役割として、尊大な不言実行より、謙虚な有言実行が、真に校友会に相応しいと思っています。当然の事ながら、和の精神を堅持して、事に当っては右顧左眄することなく執行してまいります。そして、13分会が結束して、総会、懇親会の充実をはかることが肝心と考えます。卒業生である校友に、キャンパス情報と校友会活動の現状を紹介する会報の発行、会員名簿の整備刊行、記念誌発行など活発に運営努力をする一方、将来校友会を支える在学生の諸兄姉を準会員として、側面から学部と協力しつつ物心両面にわたり支援を続けています。また、支部として、秋田県・山形県・山梨県・高知県・大阪・日本大学校友会神奈川支部農獣医部会・それに台湾支部の7支部がそれぞれ地域社会に根差した活動を展開し、校友会の目的達成に努力されています。特筆すべきは、高知県支部が平成10年創立10周年を迎えられ、記念事業の一環として、海外支部の台湾支部と親善交流をはかることになりました。今年1月22日から25日まで、高雄と台北の2都市で開催し、和やかに友好関係を樹立促進されました。特に高雄では、林義謙前支部長に高知県支部中西正昭会長より、県在住校友の総意をこめた素敵な記念品を謹呈されました。翌日林義謙

前支部長主催の午餐会に招かれ懇親の実を深められました。そして台北では、校友会本部海外特別支部台湾支部張武雄会長ご夫妻はじめ皆さんから、心の厚いあたたかい歓迎を受けました。高知県支部からは、心のこもった友好親善記念会旗を贈呈され、台湾の校友もいたく感激されました。同行しました私が思いますことは、台湾支部の校友が第2の故郷である日本を愛し、日本大学の校友であることを誇りとし、自国の繁栄に寄与され、且強力に団結されていることに改めて敬意と謝意を表した次第です。斯様に校友会は、支部間の関係を円滑に促進する媒体の役割を今回国際的にも果たしています。また、校友会本部では平成8年から瀬在良男会長のもと新体制で4つの委員会（総務・財務・企画・広報）が設置発足しました。私の所属する財務委員会では、日大カードの発行を事業目標として掲げています。端的に申せば、日大カードは、校友へのアフターサービスを拡充し、大学と校友の絆を深めることを主目的に、大手クレジット会社との提携によって、会員募集を開始しようということです。会員は、大学施設の優待利用をはじめ、各種講座の受講料割引や協力ホテル・料飲店等の優待割引などが受けられ、また、カード会社から入入手数料等は、在学生の奨学金として活用しようということです。この構想は遠大であります。平成11年6月正副会長会で特別委員会設置を認められ、7月校友会本部役員総会で承認されました。今後、委員会は、大学との折衝を通していろいろなハードルを乗り越えて行こうと尽力中です。そして、校友会給付奨学生制度を是非確立させたいものと思います。具体化の折には、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

おわりに、会員各位のますますのご健勝とご活躍を心から祈念申し上げてご挨拶とさせていただきます。

（日本大学評議員・日本大学校友会副会長）



初代会長が逝去 工藤正城初代校友会長は、病氣療養中のところ9月16日東京都内の病院で他界されました。享年83歳。工藤氏は校友会の結成に尽力され、さらに草創期の会長、日本大学校友会本部副会長を務めるなど、校友会の充実と発展に貢献されました。校友一同、謹んでご冥福をお祈りいたします。

【表紙の写真】10号館西側にある学部「発祥の碑」と「改組記念碑」

学部長に佐々木恵彦氏

門田定美学部長の定年に伴う次期学部長選挙が7月19日に湘南校舎第一会議室で行われ、佐々木恵彦教授が比較多数の票を得て当選した。任期は平成11年10月より3年間。

瀬在幸安総長が再選

瀬在幸安総長の任期満了に伴う次期総長選挙が6月17日に行われ、瀬在総長が有効投票数の過半数を超える票を獲得再選された。任期は平成11年9月1日から3年間。

校友会事務局だより

「校友会活動と今後のあり方」

来る10月2日「校友会活動と今後のあり方」について、全学科校友会の会長と事務局長による合同会議が予定されています。校友会活動は、会員の消息を知り得ることが唯一その原点であるように思います。本校友会7万2千有余の会員すべてを把握することは膨大な労力と財源が必要となります。しかし、校友のご協力を得て最大限の手法と最小限の資金でこの難題をクリアーしています。

会員名簿はその必要性や利用性が年ごとに多様化しています。とくに昨年発行した名簿の特徴は、時代の要請に対応すべく「CD-ROM版」も名簿と同時に作成して発行したことです。会員名簿は校友同士が互いに親交を深めること、校友会や母校からの情報提供など、際限なく多くの活用法があるとします。準会員である在學生にいたっては、先輩からの情報収集を主に「就職活動の大きな戦力」として活用しています。

校友会は、師弟愛をもとに母校愛の結集として誕生したものであると考えられます。その活動の基盤は、各学科校友会・学部校友会さらに日本大学校友会本部との緻密な連携により成り立っています。就学人口の減少期を迎えた今こそ「母校と校友の絆」をより深めるために、互いに一層の支援協力が必要と考えます。

「校友会事務局が移転」

来春3月、湘南校舎へ移転することになりました。これは同じく3月に東京校舎の2学科が湘南校舎へ移行することに伴い、事務局員が所属する学科すべての活動拠点が、湘南校舎に移設されることによるものです。引っ越し作業の前後はなにかとご不便やご迷惑をお掛けすることと思いますが、かような事情のために是非ご理解くださいますようお願いいたします。

なお、これを機に校友会事務局はより一層、会の目的を遂行すべく局員一同が一丸となって邁進して参りたいと考えております。会の活性化のためにもこれまでもまして、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

【移転先住所】

〒252-8510

神奈川県藤沢市亀井野1866

日本大学生物資源科学部校友会事務局

※ 電話番号・ファクシミリの番号は決まり次第
ご報告いたします。

(事務局長・木村 貞司)



東京校舎隣の明治薬科大学は、昨年8月東京都清瀬市に移転しました。
校舎などの建物はすべて取りのぞかれた現在の跡地です。(朝日新聞社提供)



中央は現在の本館。右側の建築中の建物は新館実験実習棟。解体中の建物は5号館、第3講義室学生ホール

湘南キャンパスの整備

湘南校舎と東京校舎との統合に必要なキャンパス整備が急ピッチで進んでいます。12月には新実験実習棟が完成します。1階が事務室と学生購買施設、講義室、実験室、2階から8階までは研究室です。主に農芸化学科と食品科学工学科が使用します。

さらに地下1階・地上16階建の新本館は、解体されつつある5号館および学生ホール跡に建設されます。完成は平成13年12月に予定されています。学科として食品経済学科、国際地域開発学科の2学科が

この新本館を使用します。

また短大2学科の校舎はキャンパス西側の7号館横に短大棟としてまもなく完成します。

生命科学研究センターは文部省の私立大学ハイテクリサーチセンター整備事業の補助を受け、6号館西側に3階建、延べ床面積1,719㎡で4月24日に竣工しました。

この研究センターでは、生物資源科学に必要な新たな研究が進められます。



湘南校舎5号館代替校舎（短大棟）



生命科学研究センター

農 学 校 友 会

◇農学科・植物資源科学科◇

連絡先 緑地環境計画研究室

0466-84-3623 事務局長 勝野 武彦

平成11年度総会・懇親会開催

総会に代わる幹事会が5月8日(土)に湘南校舎の第2講義室にて開催されました。主な議題は1)平成10年度事業報告と会計決算報告 2)平成11年度事業計画案と予算案 3)名簿発行(6月中旬発送済) 4)50周年記念事業体制 5)新幹事承認ならびに新理事・役員の選出が審議され、満場一致で承認されました。その後、学生食堂において懇親会が行われ盛会裡に終了しました。

新会長・役員・理事の誕生

昭和47年以来27年間の長きにわたり、農学校友会の会長を務められた西鳥羽曙氏(4期)は、校友会の立場より学科の発展のためにご尽力を賜り、会員一同深く感謝申し上げます。新会長には楠元守氏(13期)が、副会長には浅川廣治氏(18期)石川稔矩氏(19期)が就任され、会計理事に久保田昌幸氏(17期)、庶務理事に米田和夫氏(15期)が選出されました。

新役員の紹介

会長・理事	楠元 守氏(13期)
副会長・理事	浅川 廣治氏(18期)
副会長・理事	石川 稔矩氏(19期)
庶務理事	米田 和夫氏(15期)
会計理事	久保田昌幸氏(17期)
理事	志村 英世氏(4期)
理事	芦川 藤吉氏(11期)
理事	宮川 保男氏(20期)
理事	鈴木 清一氏(24期)
理事	遠田 光雄氏(25期)
理事	坂倉 龍彦氏(29期)
理事	佐々木 透氏(30期)
理事	小木曾 裕氏(31期)
理事	市川 靖氏(37期)
理事	川上 徹也氏(41期)
理事	久延 一郎氏(46期)
理事	近藤 美穂氏(48期)
理事	葉山 博史氏(49期)
理事	太田 敏史氏(51期)
監査役	赤木 洋行氏(26期)
監査役	坂本 立弥氏(29期)

会長就任にあたって

楠元 守

あまりに突然のことで戸惑いましたが、今年の総会で20余年ご活躍下さいました西鳥羽会長の後を受けて会長に就任いたしました。会員の皆様には、



前会長同様ご支援・ご鞭撻の程お願い申し上げます。また、前理事会から引き継ぎました本会の活性化につきましても、すでに、会員への情報提供の充実・毎年全員参加可能な総会の開催・名簿の整理・創立50周年記念事業の開催・学科名称の変更に伴う、新名称について新理事会で検討していますが、会員の皆様のご意見を頂きながら目的の達成に努力したいと存じますので、ご協力の程お願い申し上げます。

学科の近況

学科主任は米田和夫教授が、大学院農学専攻主任は福原敏彦教授、付属農場長は坪木良雄教授が就任され、活躍されております。

学部・学科名称の変更は今年で4年目を迎え、学生数は1年次が208名、2年次が126名、3年次が189名、4年次が160名で合計683名の学生が在籍し勉学に励んでおります。

平成10年12月15日から25日の11日間、台湾国立中興大学農学院において、「農・園芸実習」を実施致し、台湾の農業概論の講義、大学研究施設、花卉、果樹の栽培地や国立公園などを視察し、成功裡に終了しました。

磯部勝孝助手は4月より専任講師に昇格されました。また、平成10年11月に「インゲンマメの生産性向上におけるアーバスキュラー菌根菌の作用機作に関する研究」により日本大学より博士(農学)を授与されました。益々のご発展をお祈り申し上げます。

4月より2名の新任副手が着任しました。浅井理恵副手は平成7年本学科を卒業し、短期大学の副手を経て着任、長谷川副手は平成11年3月に大学院農学研究科博士前期課程を終了し着任され、ご活躍が期待されます。



浅井副手



長谷川副手



訃報 昭和48年より26年の長きにわたり、当学科の発展と学生の教育・研究にご尽力賜りました兼平勉助教授(植物病理学研究室・26期卒)が平成11年3月24日、心臓発作のため自宅で急逝されました。享年49歳でした。先生は盛岡市出身で昭和43年に本学に入学、47年に卒業され、その後、副手、助手、専任講師となり、その間、東京大学より農学博士を授与、カナダ農務省農業試験場に留学され、最近では助教授として精力的に教育・研究にご活躍しておりました。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

(井上 弘明)

紫 友 会

◇農芸化学科◇

連絡先 植物栄養生理学研究室
03-3421-5492 事務局長 長谷川 功
E-mail: isaohase@tkd.att.ne.jp

平成10年度

総会・懇親会を開催

平成10年度の紫友会総会が平成10年11月4日、東京渋谷区にある中華料理『井門』で開催された。総会では茂澤果会長の挨拶の後、平成9年度の事業報告、決算報告、監査報告ならびに平成10年度の事業計画、予算案について厳正に審議がなされ、いずれも承認された。

総会の後、多数の来賓と会員が出席し懇親会が盛大に行われた。懇親会には紫友会平成10年度（第5回）奨学生が招待され、懇親会の席上で表彰が行われた。

農芸化学科の近況

有賀豊彦教授は昨年3月より引き続き学部執行部情報科学担当として活躍されている。

本年4月より農芸化学科主任に徳山龍明教授、大学院農芸化学専攻主任に奥忠武教授が就任されている。本年4月1日付で生物有機化学研究室の西尾俊幸先生が助教授に昇格された。また、実験準備室の長倉かすみ副手は本年3月で退職され、後任として本年3月に本学食品工学科を卒業された野口勝枝氏が採用され活躍されている。



野口
勝枝氏

高橋令二先生(微生物学研究室)は日本大学海外派遣研究員として本年2月より1年間の予定で米国ニュージャージー州立医科歯科大学に留学されている。

農芸化学科も本年度末をもって長年住み慣れた三軒茶屋の地を離れ、湘南キャンパスへ移転する。現在湘南キャンパスでは農芸化学科・食品科学工学科などが入居予定の新実験棟(仮称)の建設が進んでおり、平成12年4月の入学生より卒業時まで湘南校舎で一貫した教育を受けることになる。同時に、時代に即応した実践的な教育を行うためにカリキュラムや講義内容の検討をスタッフが一丸となって行っている。

(平成11年度第6回紫友会奨学生決定)

紫友会40周年記念事業の一環として発足した紫友会奨学生の第6回生10名が、同奨学生選考委員会(徳山龍明委員長)により厳正に選考され下記のように決定した。第6回紫友会奨学生の表彰は本年11月の紫友会総会・懇親会時に行われる。

2年次 大勢待布美、関佐紀子、矢萩久美子

3年次 介川尚子、後藤尚美、吉澤菜穂子

4年次 佐藤信洋、鶴見知子、九万田有希

大学院農芸化学専攻1年 小川真弘

紫友会事務局より

平成11年度総会・懇親会が11月13日(土)に高輪プリンスホテルで開催されます。総会は午後3時から、懇親会は午後4時から開催します。懇親会では懐かしい顔ぶれから現役学生の紫友会奨学生までが一同に会し、旧交を温め楽しいひとときを過ごすことと思います。奮ってご出席くださいますようお願いいたします。

(関 泰一郎)



秋 の 七 草

角 笛 会

◇獣医学科◇

連絡先 獣医微生物学研究室

0466-84-3635 事務局長 鎌田 寛

E-mail: kamata@brs.nihon-u.ac.jp

角笛会総会を開催

平成11年度角笛会総会が平成11年6月19日(土)、本学において開催されました。平成10年度の事業報告、決算報告、監査報告のあと平成11年度の事業計画、予算案、新役員が審議、承認されました。新役員は以下の通りです。

新役員

顧問：長尾壮七氏(S27年卒)

支部長幹事：小池専治氏(岩手、S28年卒)、花城康

清氏(神縄、S40年卒)、田村幸生氏(群馬、S45年卒)

常任幹事：田中茂男氏(S38年卒)

学外幹事：猪野和郎氏(S24年卒)、恩田英治氏(H11年卒)、山本扶美氏(H11年卒)

角笛会功労者に以下の17名が表彰されました。

熊谷泰隆氏(S15年卒、北海道)、千葉正男氏(S20年卒、岩手)、梅澤長一氏(S15年卒、山形)、大内賢二氏(S16年卒、福島)、桑原二男氏(S32年卒、群馬)、原義博氏(S42年卒、埼玉)、川口武志氏(S24年卒、東京)、若尾良知氏(S31年卒、山梨)、川森武夫氏(S17年卒、静岡)、脇田英一氏(S19年卒、京都)、佐藤照雄氏(S17年卒、奈良)、前嶋勉氏(S16年卒、和歌山)、秋元清隆氏(S14年卒、兵庫)、松尾昌泰氏(S17年卒、岡山)、柿丸俊恵氏(S13年卒、島根)、中村幸明氏(S19年卒、熊本)、津曲茂久氏(S49年卒、本部)

平成11年度アニマルメディカルセンター支援基金研究助成金(30万円)が、日本大学津曲茂久助教授に授与されることに決定しました。支援課題「短時間測定装置を用いたANMECにおけるホルモン基準値策定に関する研究」

獣医学科の近況

○獣医師国家試験 第49回獣医師国家試験の結果が平成10年3月20日に発表されました。本学から164人が受験しそのうち149人が合格、合格率90.9%でした(全国平均85.7%)。合格率は全国16獣医系大学中11位、私立大学の中では3位でした。

○表彰、学位等の授与 今年度卒業生の学部長賞は玉根知美さん、枝村一弥くん、獣医師会長賞は小野聖子さんに授与されました。また、本学桑原正人助教授、校友の静岡県環境衛生科学研究所副主任長岡宏美氏に学部長賞が授与されました。

角笛会会長賞は、恩田英治君、植村綾子さんに授与されました。

稲葉右二教授が日本農学賞を受賞されました。今年度、大学院獣医学専攻を終了した西山武男君、宮守美由紀さんに博士(獣医学)が授与されました。論文提出により博士(獣医学)を取得された方たちは、山井志朗氏、國分輝秋氏、寥永剛氏、齊藤隆行氏の4名です。

○獣医学科入試・入学状況 現在、本学では種々の方法で入学者の選抜が行われていますが、獣医学科のそれぞれの受験状況は以下の表に示すとおりです。

選抜方法	募集人員	受験者数	合格者数	競争率
指定校推薦(普通科)	学部全体で77名	21(15)	13(10)	1.6
指定校推薦(開進産業科)	学部全体で33名	4(4)	4(4)	1.0
公募制推薦(普通科)	学部全体で66名	53(35)	8(6)	6.6
公募制推薦(開進産業科)	学部全体で33名	14(7)	6(3)	2.3
公募制(技能)	学部全体で22名	15(12)	2(2)	7.5
本校試験	50名	2,705(1,327)	110(45)	24.6
地方試験	10名	817(431)	32(12)	25.5

()は女子

()は女子

以上の激戦を勝ち抜いて本年度獣医学科に入学した1年生は146名(女子73名)でした。

○学年担任

1年次：月瀬東教授(獣医解剖学)、根岸洋明助教授(数学)、森友忠昭講師(魚病学)

2年次：勝部泰次教授(獣医公衆衛生学)、丸山総一助教授(獣医公衆衛生学)

3年次：田中茂男教授(獣医外科学)、小坂俊文講師(獣医外科学)

4年次：渡部敏教授(獣医生理化学)、野上貞雄教授(医動物学)

5年次：武石昌敬教授(獣医臨床繁殖学)、木村順平助教授(獣医解剖学)

6年次：岡野眞臣教授(獣医組織発生学)、湯川眞嘉助教授(実験動物学)

○退職 稲葉右二教授(獣医伝染病学)、長尾壮七教授(研究所)、森田容子副手(獣医公衆衛生学)が退職されました。

○昇格・移動 野上貞雄先生(医動物学)、金山喜一先生(獣医生理学)が教授に山谷吉樹先生(外科学)が専任講師に昇格されました。遠藤克先生(獣医生理学)が動物資源科学科の教授に昇格、移動されました。山谷吉樹先生(外科学)が総合臨床獣医学研究室に高木香先生(総合臨床獣医学)が獣医臨床繁殖学研究室に移動されました。(平成11年4月1日付け)。



亘 敏広助教授 浅野和之助手 加納 聖助手 壁谷英則助手

○新任 亘 敏広 助教授(総合臨床獣医学)、浅野和之助手(獣医外科学)、加納 聖助手(獣医臨床病理学)、壁谷英則助手(獣医公衆衛生学)が採用されました。

◇求人のお願ひ◇ 女子の増加に伴い、小動物臨床の勤務医を希望する学生が増えています。会員からの求人申し込みは学部就職指導課ならびに6年次担任(岡野眞臣教授、湯川眞嘉助教授)までご連絡ください。(丸山 総一)

満喜葉会

◇畜産学科・動物資源科学科◇

連絡先 畜産食品科学研究室
0466-84-3661 事務局長 宮原 晃義

満喜葉会総会を開く

平成11年5月15日午後2時より生物資源科学部湘南校舎第1会議室において、平成11年度満喜葉会役員会が開催されました。役員会は会長挨拶の後、会則に従って会長を議長として議事に移り、平成10年度事業経過並びに会計決算が事務局より報告され承認されました。また、会計監査より監査結果についての報告がなされ承認されました。次に、平成11年

度事業計画並びに予算案が事務局より提案され、審議後承認されました。役員の任期満了に伴う新役員の候補者についての選出が会長より提案され、岩間脩新会長を始めとした新役員が承認されました。

その後午後3時より総会が開催されました。総会では役員会で承認された議事について報告され、承認されました。

新入生歓迎会開催

毎年恒例の動物資源科学科新入生歓迎会が5月15日午後4時より、湘南校舎食堂棟において開催されました。歓迎会は満喜葉会会員を交えて、学科主任中西教授や岩間新満喜葉会会長の挨拶の後、新入生との親睦を深めました。



学科の近況

平成11年7月6日付で西田隆雄教授（動物生体機構学研究室）が定年退職されました。後任として平成11年4月1日付で遠藤克教授（写真）が着任されました。遠藤教授は昭和41年度に本学畜産学科を卒業後、日本大学医学部、本学獣医学科に長年勤務され、本年度より生体機構学研究室に所属し動物生体機構学Ⅰ、生体機能調節論等を担当されます。

平成11年3月31日付で青木由加副手が退職されました。後任として平成11年4月1日付で鈴木咲子副手（写真）が採用されました。鈴木副手は平成10年度本学畜産学科を卒業、現在草地学研究室に所属されております。

本年度の学科主任には中西五十教授が、大学院専攻主任には森地敏樹教授が再任されました。

学科主催のオセアニア研修旅行（オーストラリアとニュージーランド）が7/31～8/14で実施され、畜産施設の見学やクイーンズランド大学での野生動物等に関する講義を受け有意義な時間を過ごし無事帰国しました。



事務局から

ここ数年前より在籍女子学生の割合が増加し、学生を取り巻く就職は極めて厳しい環境にあります。これに関する情報等がございましたら、事務局までご連絡をお願い致します。

また、今後の円滑な名簿作成と発行を行うに当たり、転勤による住所変更、結婚などによる氏名の変更の際には、お手数でも事務局までご連絡ください。

（園田 豊）

いもづる会

◇食品経済学科◇

連絡先 食品資源研究室
03-3421-5859 事務局長 下渡 敏治

— 1999年度 —

幹事会・懇親会を開催

1999年度の幹事会および懇親会が、去る6月5日(土)午後4時30分より生物資源科学部東京校舎で開催されました。幹事会の出席者数は、正会員30名、準会員13名であり、懇親会は学科教職員を含め約50名の出席者をもって盛会裏に終了しました。役員改選の年に当たる幹事会では満場一致で、村山進副会

長を新会長に選出し、これまで会の発展にご尽力いただいた三木敏夫会長は名誉会長に推挙されました。また、今年度から安村碩之助教授に代わり下渡敏治助教授が新事務局長として事務局の運営を担当することになりました。旧役員の方々にはご苦労さまでした。そして、新役員の方々には今後のご活躍を期待しております。

いもづる会新役員

会 長	村山 進(10期)	
副 会 長	千田 徹(21期)	高野浩臣(24期)
	横川 屹(21期)	高見伸一(28期)
会計監事	野畑 修(20期)	高橋 巖(38期)
事務局長	下渡敏治(28期)	



《学科よもやま話》

【新入生】食品経済学科は、今春148名の新入生を迎え、4月24日(土)に開催された新入生歓迎研修会では、講演会とOB、教員による「食品経済学科生としての帰属観を深める」と題した公開討論会が行われました。また、5月22日(土)に開催された学部・短大運動会では見事、準優勝(昨年は6位)に輝きました。

【オープンキャンパス】7月31日(土)に開催されたオープンキャンパスでは、当学科は経済調査実習やゼミナール、食品産業界のトップを招いて行う特別講義などの授業風景のパネルを展示したり、学科の教育内容を模型化して説明するなど「理系学部にあるユニークな文系学科」としての存在をアピールし

ました。また、パソコンを利用した「あなたの食事・外国依存度は?、栄養バランスは?」のコンピュータ診断(写真)は、受験生だけではなく学部教職員からも注目されるなどして、当日は100名を超える受験生が当学科に強い関心を示していました。

【特別講義】今年で8年目を迎える3年次開講の特別講義は、9月8日(水)~10日(金)の3日間、「食品企業の成長と国際戦略」と題して、雪印乳業(株)国際部副部長の小塚善文氏によって実施されました。

【人事】学科人事では、農水省北海道農業試験場から盛田清秀先生が着任しました(1999年4月1日付)。また、第9代食品経済学科主任に上路利雄教授が選任されました(同上)。学科のより一層の充実・発展を期待致します。

(木島 実)

あすなろ会

◇林学科・森林資源科学科◇

連絡先 森林環境保全研究室
0466-84-3675 事務局長 石垣 逸朗

平成11年度

あすなろ会幹事会を開催

平成11年7月16日(金)午後4時半より日本大学会館において平成11年度あすなろ会幹事会が開催されました。各期の幹事20名が出席し、45周年記念事業および平成9・10年度の事業経過報告、会計報告などが行われました。また、平成11・12年度の事業計画等が討議され、本年10月15日(金)に日本大学会館においてあすなろ会総会を行うことが決定されました。全ての議事終了後、午後6時より会館内食堂において懇親会が行われ、和やかな雰囲気の中閉会となりました。

あすなろ会事務局長交代

今年度から濱本和敏先生に代わり石垣逸朗先生が新事務局長としてあすなろ会事務局の運営を担当されることとなりました。これに伴い、事務局の連絡先は下記のとおり変更となります。濱本先生には長年にわたり本会のためにご尽力いただきましたことに、心より御礼申し上げます。

〒252-8510 藤沢市亀井野1866

日本大学生物資源科学部森林資源科学科

森林環境保全研究室

電話(直通) 0466-84-3675 (石垣逸朗助教受)

林学科最後の卒業生が巣立つ

平成11年3月25日、日本大学農獣医学部林学科としては最後の卒業生が巣立ちました。今後は一部を除き、1年から4年までの全学年が生物資源科学部森林資源科学科の学生となります。卒業式の前日にホテルニューオータニにおいて行われた林学科最後の卒業生を送る会は、多数のOBからのご寄付、また、ご出席をいただき大変な盛会となりました。紙面ではございますが厚く御礼申し上げます。

平成10年度あすなろ会会長賞受賞者

平成10年度あすなろ会会長賞に下記の6名が決定し、平成11年3月24日ホテルニューオータニにおいて行われた林学科最後の卒業生を送る会にて記念品の銀盃が贈呈されました。

曾根 昌(森林・緑地造成ゼミ グリーン産業(株))

石原祐軌(林業経営ゼミ 森林開発公団)

石井恭子(木材科学・工学ゼミ オークヴィレッ

ジ(有))

金 真美(森林・緑地保全ゼミ 日本大学大学院
農学研究科)

尾島修子(森林動物ゼミ アポック社)

堀江陽介(住宅・流通ゼミ 住友林業緑化(株))

新入生歓迎会が開催される

平成11年度森林資源科学科新入生歓迎会が5月22日の学部運動会終了後、湘南キャンパス食堂棟において行われました。あすなろ会より差し入れの飲み物での乾杯が始まり、盛大な歓迎会となりました。学生、教員とも運動会の後とあって食欲は旺盛で、同じ釜の飯(?)で大いに親睦を深めることができました。なお、本年度の新入生は163名(男子101名、女子62名)です。



学科の近況

学科のためにご尽力頂いた高柳ルイ副手が、任期満了に伴い本年3月末日をもって退職され、後任として菊地由紀副手(平成11年3月本学部農芸化学科卒業)が着任されました。森林動物学研究室の岩田隆太郎先生が助教授に、森林環境保全研究室の瀧澤英紀先生が専任講師にそれぞれ本年四月より昇格されました。今後の更なる活躍が期待されます。



井上公基助教授は日本大学海外派遣研究員として本年6月より半年間の予定で、アメリカ合衆国のワシントン大学に留学されています。

春の褒章におきまして、森林水文学研究の第一人者としてご活躍されている森林環境保全研究室の塚本良則教授が、その功績により紫綬褒章を受章されました。今後も益々のご活躍が期待されます。

また、林木育種学研究室の佐々木恵彦教授は、門田定美現学部長の定年退職に伴う次期学部長選挙において見事当選され、10月24日付で学部長となられます。

事務局より

昨今の就職環境は、男子学生はもとより、女子学生にとっては非常に厳しいものとなっております。就職に関する情報をお持ちの会員諸氏は、上記連絡先までご一報いただければ幸いです。

(宮野 則彦)

桜 水 会

◇水産学科・海洋生物資源科学科◇

連絡先 水産生物学研究室
0466-84-3677 事務局長 小橋 二夫

新役員が決まりました

平成11年度評議員会が平成11年7月3日に湘南校舎1011講義室で開催され、事務局長から平成10年度事業報告案、会計幹事から同決算案が報告され、満場一致で承認されました。引き続き、平成11年度・12年度の新役員の選出が行われ、同時に開かれた総会において承認されました。

新役員は次の通りです。

会 長	竹内 均	(2期)	
副 会 長	桜木 進	(10期)	
	村上 泰義	(20期)	
監 事	大谷木緑四郎	(2期)	
	安斎 寛	(27期)	
事務局長	小橋 二夫	(13期)	
庶務幹事	青野 英司	(40期)	
	荒 功一	(39期)	桜水会誌担当
会計幹事	松宮 政弘	(27期)	
編集幹事	安斎 寛	(27期)	名簿編集担当
	吉原 喜好	(14期)	校友会々報担当

さらに新役員のもと平成11年度評議員会が開催され、平成11年度事業計画案、予算案が事務局長、会計幹事からそれぞれ提案され、これも承認されて新年度の事業がスタート致しました。

評議員会・総会が滞り無く終了した後、会場をN USCホールに移して、約80名の来賓・校友を集めて懇親会が開催されました。

毎回この会報に書いていたことですが、もっともっと若い世代の卒業生が校友会活動に関心を持ってくれることを期待しております。

学 科 の 動 向

水産利用学研究室の松宮政弘専任講師は7月21日から海外派遣研究員として半年間アメリカ・カンザス州立大学に留学中です。

さて、今年3月に最後の水産学科学生が卒業し、名実共に海洋生物資源科学科の時代になりました。これに合わせたわけではないですが、学科の人事に大きな動きがありましたので紹介いたします。

御退職 本学を卒業され、そのまま大学に残って学科・学部の発展にご尽力下さった3名の先生が満70歳の定年を迎えて御退職されました。

添田秀男研究所教授(平成10年11月23日付)

東 禎三研究所教授(平成11年1月1日付)

出口吉昭 教授(平成11年3月30日付)

先生方の所属された研究室が主催してそれぞれの形で送る会を開催いたしました。学科としては3月10日に藤沢法華クラブにおいて送別会を行い、門田学部長から感謝の言葉と記念品を贈呈致しました。

研究室替 臨時に海洋学研究室におられた清水誠教授が添田先生のご退職に伴って漁業生産学研究室に移られました。

所属替 諸過程に所属しておりました奥谷喬司研究所教授が海洋生物資源科学科に所属替えとなり、清水教授がおられた場所に移りました。

昇 格 3名の先生が教授に昇格されました。

杉田治男先生 (水産増殖学研究室)

朝比奈潔先生 (水産生物学研究室)

広海十朗先生 (海洋学研究室)

教授に昇格された3名の先生方はいずれも40台半ばの新鋭で、今後のご活躍が期待されます。

新 任 荒 功一さん(本学39期卒)が助手として採用されました。荒さんは本学農学研究科水産学専攻前期課程を修了後、サンパウロ大学海洋研究所の博士課程に進まれ、内湾の浮遊性カイ脚類の生産に関する研究に携わり、今年2月にPh.D.(理学博士)の取得と同時に母校に戻ってきました。海洋学研究室にて外国で培ってきた知識をもとに研究と学生への指導に邁進しております。

本年3月に卒業した中島理恵さん(水産増殖学研究室)と小敷賀祐子さん(魚医学研究室)が助手として採用されました。(吉原 喜好)



荒 功一助手



中島理恵副手



小敷賀祐子副手

工 学 会

◇農業工学科・生物環境工学科◇

連絡先 測量準備室

0466-84-3757 事務局長 斎藤 公三

E-mail: ksaito@brs.nihon-u.ac.jp

農業工学科最後の 卒業生が巣立つ

一部の学生を除けば、本年3月卒業した学生が農業工学科最後の卒業生となりました。学科創設以来、本年までに5074名が卒業されました。来年からは生物環境工学科の学生が卒業していくことになります。学科の名称は変わっても校友会は変わりませんので、校友の皆様におかれましてはよろしくお願ひいたします。

理事会・役員会開催される

本年5月29日15時より、湘南校舎本館第2会議室において理事会が開催された。議長選出の後、事務局長より平成10年度の一般経過報告が、会計係より平成10年度の決算報告が行われ、満場一致で承認された。この後、平成11年度の事業計画案および予算案の審議が行われ、承認された。

役員会は理事会の約1ヵ月後の6月26日15時より、湘南校舎本館第1会議室で行われた。規約に基づき議長選出の後、平成10年度の一般経過報告、事業計画、会計決算報告が行われ満場一致で承認された。この後、工学会第13期理事の選出が行われ、第12期理事のほぼ全員の留任が決定された。新役員は下記の通りです。

会 長	村田 昇	(昭和41年卒)
副 会 長	新藤 薫	(昭和43年卒)
"	酒川和夫	(昭和47年卒)
"	鈴木昌二	(昭和49年卒)
会計理事	鈴木重則	(昭和52年卒)
理 事	岩川重雄	(昭和38年卒)



湘南校舎本館第1会議室で開かれた役員会

"	戸崎紘一	(昭和39年卒)
"	陳尾友行	(昭和42年卒)
"	新井宏枝	(昭和44年卒)
"	比留間速男	(昭和48年卒)
"	河野 廣	(昭和51年卒)
"	玉川雅仁	(昭和54年卒)
"	内藤泰征	(昭和57年卒)
"	工藤謙一	(昭和58年卒)
"	田上もと子	(昭和60年卒)
"	加古師幸	(平成2年卒)

新役員の方々、もう3年よろしくお願ひいたします。

学科の動向

本年1月、土木施設工学研究室の山野隆康教授が定年のため退職されました。また、1昨年の10月1日に着任された水資源利用工学研究室の丸山利輔教授が本年3月23日をもって退職され、石川県立短期大学学長として着任されました。山野先生は16年間、丸山先生は1年半と勤務年数に大きな差はあるものの両先生は本学科のために貢献された先生方でありました。両先生のご尽力に感謝申し上げると共に、今後の先生方のご活躍を期待したいと思います。また、6年間にわたり副手として学科のために御苦勞いただいた濱田千夏副手と山崎綾子副手も退職されました。長い間、ご苦勞様でした。感謝申し上げます。

本年4月、水資源利用工学研究室には長坂貞郎助

手が、建築・農村計画学研究室には栗原伸治助手が着任されました。長坂助手は京都大学大学院博士課程を、栗原助手は総合研究大学院大学博士後期課程を修了された新進気鋭の先生方です。学科の若手のホープとして両先生には今後のご活躍を期待したいと思います。また、退職された副手の後任として二宮智恵副手と松木千紗副手が着任されました。二宮副手は平成9年3月、本学部農芸化学科を卒業後、10号館で実験準備室副手として勤務されていましたが、本年4月より本学科へ着任されました。松木副手は本年3月、本学部食品工学科を卒業されて着任されました。色々ご足勞掛けと思いますがよろしくお願ひいたします。

(川西 啓文)

長坂助手



栗原助手



二宮副手



松木副手



F T 会

◇食品工学科・食品科学工学科◇
連絡先 食品理化学第3研究室
03-3421-6075 事務局 長 竹永 章生

F T会総会・懇親会を開催

F T会総会・懇親会が平成10年11月14日、ダイヤモンドホテル（半蔵門）にて開催されました。総会では平成9年度事業報告・会計決算報告および平成10年度事業計画・会計予算が報告され、承認されました。また、役員の改選も行われ、承認されました。懇親会では多数のご来賓の方々よりご祝辞を賜り、乾杯の後、いたるところで歓談の輪が広がり、大いに盛り上がりました。

【新役員】会 長 関村 具由（1期・再）
副会長 種貫 峻（1期・新）
高橋 明弘（1期・新）
青井 幸雄（4期・再）
大瀧 博久（6期・再）



平成11年度F T会理事会を開催

平成11年度F T会理事会が7月10日、ホテルセンチュリーハイアット（新宿）で開催されました。平成10年度事業報告および会計報告が報告されました。また、来年度に行われる予定の総会および懇親会や準会員に対する補助に関しても議論されました。

準会員をバックアップ

F T会では準会員に幅広く校友会活動を理解してもらうことは校友会発展のために必要であると考え、様々な面から準会員へのバックアップを強化しました。

① F T会会長賞の新設

平成10年度より学業および人物とも優秀な卒業生1名に金一封を贈るF T会会長賞を新設しました。栄えある第1回の受賞者は枇杷木宏和君に決定しました。枇杷木君は現在、日本大学大学院農学研究科に在籍し、日々研究に励んでいます。



② 運動会応援への補助

平成11年5月22日に行われた学部運動会では1年生に対して応援のための団扇を贈呈しました。運動会はいへん盛り上がり、本学科は総合成績5位に終わりました。

③ 3年生と教員との懇親会への補助

平成11年7月9日に東京校舎で行われた「3年生と教員との懇親会」を全額補助しました。この懇親会は研究室配属を控えた3年生に対して研究室および卒業研究をより理解し、勉学に励んでもらうために行っているものです。当日は3年生が研究室、研究テーマや進路のこと等を教員と話す場面が見られ、終始和やかなうちに終わりました。



学科の近況

松藤 寛先生（食品分析学研究室）が専任講師に昇格されました（平成11年4月1日付）。また、平田明弘先生（食品製造学研究室）が平成11年6月30日付で、木本直美さん（副手）が平成11年3月31日付で退職されました。

計

報

昭和40年から34年間の長きに亘り、当学科の発展および学生の教育指導に多大なるご尽力をいただきました梅澤勝正助教授（食品保蔵学研究室）が平成11年3月19日に急性硬膜外血腫のため永眠されました。享年61歳でした。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

(阿部 申)

拓 友 会

◇拓植学科・国際地域開発学科◇

連絡先 経営学研究室
03-3421-6437 事務局 早川 治

E-mail: osamuh@brs.nihon-u.ac.jp

総会・懇親会の開催

＜総会＞

平成11年度の拓友会総会は、平成11年6月26日(土)午後4時から「南国酒家」原宿店金剛の間で開催された。

近藤良三郎会長を議長に選出し、第1議題の平成10年度事業報告と第2議題の決算報告が一括上程され、いずれも原案通り可決した。第3議題の平成11年度事業計画と第4議題の会計予算案では、在校生を対象とした「懸賞論文」募集計画が新規に提案され、承認され、また予算案も承認された。第5議題である会則改正については、会則に「会長代行」を追加すること、また役員選出・承認方法について若干の条項を追加することが提案され可決された。第6議題は役員改正で、第5議題に基づき平成11～13年度の役員候補者が提案され可決された(新役員は別項参照)。第7議題の平成11年度宮崎賞候補者として3年次学生、張明才君(韓国出身)が国際地域開発学科より推薦されたことが報告され、承認された。このように総会は予定通り進行し午後5時に閉会した。

＜懇親会＞

懇親会は総会後、午後5時より同場所で、生物資源科学部長門田定美先生、同学部校友会副会長富沢寿雄氏、同学部各分会長を始め、国際地域開発学科の

先生方をお迎えし、盛大に開催された。近藤会長の開会の挨拶に続き、門田学部長並びに学部校友会副会長富沢氏から祝辞を頂戴した。続いて、平成11年度宮崎賞の授賞式が行われ、張明才君に近藤会長より賞状ならびに奨学金が贈呈された。受賞後、張君より「今後ともさらに学業に励み、国際協力に貢献していきたい」との力強い謝辞が述べられた。その後、国際地域開発学科片岡晴雄教授の乾杯の発声により懇談に入り、円卓を囲み級友や恩師を交えて和気あいあいと懇談の輪が広がった。最後に、参加者全員が「拓友旗」の前で集合写真を撮って、浜口善博副会長の閉会の挨拶をもって懇親会をお開きとした。

＜平成11～13年度 拓友会役員氏名＞(会長・副会長・常任理事のみ)

会長 近藤良三郎(4期)

副会長・会長代行 浜口喜博(10期)

副会長 山澤新吾(5期)、下条勝利(13期)、佐藤猛(15期)、内田俊太郎(16期)

常任幹事 木内哲郎(2期)、小川吉四郎(12期)、武井和雄(13期)、長谷川勝男(13期)、佐山公男(17期)、井上雅也(18期)、平岡完勝(17期)、谷地三知也(17期)、幸田正人(19期)、徳江一恵(19期)、大津隆(21期)、西木敏夫(23期)

幹事 (計40名)

事務局 早川 治(20期) 他局員3名

学 科 の 動 き

＜昇格、新任及び退任＞

倉内伸幸先生が助手から専任講師に昇格、白岩泉副手が任期満了で退職、澤田留美副手(拓植学科平成9年卒)が新しく着任されました。今後のご活躍を期待いたします。(緒方 行広)



拓友旗の前で記念撮影

むつあい会

◇短期大学部農学科◇

連絡先 短期大学部園芸学第2研究室(12年4月より短期大学部
野菜学研究室) 0466-84-3743 事務局長 土岐 知久

総会・懇親会開催

平成11年度むつあい会総会並びに懇親会は、6月12日(土)15時より湘南校舎で開催された。

総会は、本館第一会議室で開催の予定であったが、学内の会議のために急遽食堂棟2階に変更された。

富樫利男副会長の開会の辞、富沢寿樹会長の挨拶に続いて議長に斎藤忠雄氏(4期)を選出、平成10年度一般経過報告及び事業報告を楠元事務局長が行い、報告通り承認された。さらに平成10年度会計報告を広長会計が行い、引き続いて監査報告があり、報告通り承認された。また、平成11年度予算及び事業計画も原案通り承認された。

今年度は役員の交代期に当たり、会長はじめ多くの役員が留任となったが、3年間一回も出席されなかった幹事は、新しい幹事と交代することになって、フレッシュな役員が加わり今後の活性化につながるものと考えられる。また、事務局長も表記に交代となったので今後とも宜しくお願いいたします。

懇親会は午後5時から、食堂棟2階で開催され、門田定美生物資源科学部長・短期大学部次長はじめ、生物資源科学部校友会会長茂澤果氏とともに各分会会長、短期大学部農学科長武田恭明教授はじめ農学科の先生方のご臨席のもと盛大に開催された。

開会の言葉の後、富沢会長の挨拶、茂澤校友会会長のご挨拶があった。続いて門田学部長から、めざましく発展しつつある湘南キャンパスの展望を含むご挨拶があり、さらに、武田短大農学科長から、まもなく新短大棟が竣工することや、今後の展望等を含めてお祝いの言葉があった。また、事務局長交代

にともないこれまでの楠元事務局長に対して感謝状と記念品の贈呈がなされた。

総会の参加者は予想よりはやや少なかったが、お陰様で平年の総会と同じ程度の会員の参加があった。

来年も、総会がさらに盛大に開催されるように、多数の会員の皆様のご出席をお願いいたします。なお、総会のお知らせは、経費節減のために会員個々にはせず、むつあい会会報の最後のページ(8ページ目)に、囲み記事として掲載することが4年前より決定・実施されておりますので、むつあい会会報でご確認いただき、早めに予定の中に加えていただきたいと思います。

学科の近況

農学科では、3月に55名(48期)が卒業して正会員となり、4月に65名の新入生を迎えた。2年生は60名で、合計125名の準会員が在籍している。

卒業生の進路状況

就職状況の厳しい中であって、卒業生55名のうち編入学したものが36名(約66%)が本学の学部や他大の学部へ進学した。就職は6名、専門学校・進学準備・アルバイト等を含めたその他が13名となった。

入学志願状況とカリキュラム

平成11度の志願状況は、平成10年度よりやや減少したものの、短大としては全国的にもトップクラスで、定員50名のところへ300名(6.0倍)の応募があった。うち66%は女子で、農学科でも圧倒的に女子が多くなり、入学者も73%が女子となって新しい時代を迎えている。このような新しい時代の流れや学生のニーズに対応するために、3年前の入学生からカリキュラムを変更するとともに、植物生産環境コースと植物細胞工学コースに名称を変更してまる4年が経過し、学年進行で実施したために、一昨年から新カリキュラムの完全実施ができることとなった。

人事

渡辺慶一先生は、これまでの教育・研究の実績が認められ、4月1日より教授に昇任された。心よりお祝い申し上げますとともに、今後益々のご活躍をお祈りいたします。担任は、1年生は渡辺教授、2年生は寺沢助教授となりました。

事務局から

会員総数は、2936名となった。住所変更・居住表示変更や結婚などによる改姓等があった方は、ご面倒でも事務局までお知らせ下さい。特に、居住表示変更・住所変更などで、会報が配達できない会員が多くなっています。(土岐 知久)



総会後の懇親会。学部長門田先生を囲んで

生活環境学科校友会

◇短期大学部生活環境学科◇

連絡先 環境科学研究室
0466-84-3750 事務局長 飯塚 統

平成10年度懇親会

11月20日(金)午後7時より横浜駅東口の崎陽軒を会場に開催されました。本校校友会発足以来会長を勤める岡崎さんのリーダーシップのもと、茂澤学部校友会々長初め各分会会長、現職の教員も参加されて、100人余りの参加者が豪華な中華料理を囲みながら旧交を暖めて一夕を過ごしました。いつもの打ち解けた雰囲気、恒例のビンゴゲームを楽しみました。

新会員・準会員へのプレゼント

今春の卒業生は115人、うち男子16人。校友会入会を祝って新卒業生に例年と同じく農場生産の赤いバラを添えて各自の姓のスタンプ印を贈りました。

平成11年度の新入生は17人の男子学生を含む108人でした。準会員になられた新入生にも5月末の新入生歓迎学部運動会に着るオリジナルTシャツを贈って連帯感を盛り上げました。

学科の近況

教授昇格と副手の交代

島田正文先生は平成11年4月に教授に昇格されました。また先生の長年の研究「都市における昆虫類の生息と緑化に関する研究」に対し、5月に日本造園学会賞が授与されました。本校校友会会員のなかにも島田先生と一緒にゼミナール活動で虫を調べた経験を懐かしく思い出す人がいらっしゃるでしょう。皆さんの協力もこの実りを助けたのです。

最近4年間、実験演習の補助や学科の事務に積極的に働いて下さった副手の浅井理恵さんが植物資源科学部に配置替えになり、食品工学科を今春卒業した高橋充(みつる)さんが後任につかれました。

短大専用校舎の新築

現在生物資源科学部の全学科を湘南校舎に移転すべく大がかりな建築が進行中ですが、その一環として短大専用校舎が新築されました。キャンパスの西寄り、バラ園の隣です。3階に講義室、1、2階に農学科、生活環境学科の研究室と演習室、実験室が配置され、9月から使われる予定です。

学外研修

選択科目、住環境特別演習として建築、

庭園、町並などの見学が例年通り京都、奈良などで実施されました。食環境特別演習は平成10年度は7月下旬に一泊二日で佐世保のハウステンボスと長崎を訪れました。環境保全に特に配慮したハウステンボスの最新の施設を見学し、チーズ作りの実演などヨーロッパ食文化の一端にふれ、長崎大学では水産物の毒成分について権威の教授に講義をお願いしました。

4月恒例の新入生の軽井沢研修が今年は試みに農学科と合同で行われました。

卒業生の進路

JA伊豆の国、鈴木造園、東京めいらくなど、3月末までに就職を決めた人は19人でした。

生物資源科学部への編入学生は56人、このうち3年次への編入は昨年より大幅増加の40人で多数となりました。

日大経済学部へ1人。他大学への編入は、東京家政学院大2人、筑波大、信州大、麻布大、玉川大各1人の7人でした。専門学校に8人、外国留学3人。

事務局より

本誌より早くご案内が届いたはずですが、本校校友会設立10周年記念パーティーを11月3日(水)午後1時半より横浜シェラトンホテルで開催します。会費の大幅援助、ゲームの豪華賞品など参加しなければ損な企画です。皆さん来てください。

住所、氏名に変更のあった方は飯塚教授へご連絡ください。(大川 いづみ)

▼完成間近の短大新校舎



応用生物科学科校友会

◇応用生物科学科◇

連絡先 分子微生物学研究室

事務局長 中嶋 睦安

TEL: 0466-84-3705 FAX: 0466-80-1142

E-mail: address: nakajima@brs.nihon-u.ac.jp

応用生物科学科校友会会員の皆様へ

応用生物科学科(ABS)校友会は、今年で設立8年目を迎えました。今春、第8期卒業生132名を新たに迎え、会員数も1100名の団体になりました。

今年度の総会は、間もなく開催されますが、昨年度から継続して、校友会の運営・活動に関する議論を行う予定です。これまで、学科校友会は、総会・懇親会への出席者数の問題や、校友会費徴収に関する問題など慢性的な問題を抱えております。これらの問題を解決するためには、会員の皆様方の協力が不可欠です。校友会発展のためにご協力くださいますようお願い申し上げます。

第8回総会の開催等について

前年度(第7回)総会は、平成10年11月21日(土)14:30より、湘南キャンパスNUSCホールにおいて開催され、平成10年度事業報告、同年度会計決算報告、および平成11年度事業計画、平成11年度予算案に関する案件について審議・承認をいただきました。

平成11年度(第8回)の総会・懇親会は、来る11月27日(土)14:30より、湘南キャンパスNUSCホールにおいて、開催を予定いたしております。多数の会員の皆様のご参加を期待しております。

ABS校友会の現状及び本年度の活動行事

本校友会会員は、上述の通り、今春、132名の平成10年度卒業生を新たに迎え(写真)、1100名となり

ました。なお、準会員の応用生物科学科在籍学生数は、現在、589名で、学年別には4年次生145名、3年次生145名、2年次生151名、1年次生148名となっております。

校友会活動の一環として、恒例の研究室対抗ソフトボール大会(第7回)を、例年通り、10月10日(土)の体育の日に、湘南キャンパスグラウンドで開催いたします。この大会は、会員(卒業生)の皆様も参加可能となっておりますので、出身研究室に戻って後輩たちと楽しい一日をお過ごしいただきたいと思います。

応用生物科学科の近況

ご存じの通り、学科は8研究室で構成されておりますが、今春、学科に関連する研究施設「生命科学研究センター」が開設されました。それに伴い、学科スタッフも1名増えて18名になりました。また、学科人事に昇格、退任等がありましたのでご報告いたします。

苦名充、青木俊夫、上田賢志の先生方は、今春4月、揃って専任講師に昇格されました。また、3月、副手の高橋尚子さんが退任され、後任として、4月、新卒の矢部智子(植物細胞学研究室出身)さんが就きました。

生命科学研究センター長に、別府輝彦先生が就任されました。同時に、先生が主宰される生命工学研究室の機能の一部を、同センターに移し、そこでの活動を開始されました。また、同センターに、長谷川典子副手が異動、着任されました。

それぞれの研究室では、卒研究生や大学院生が、先生方の指導の許に活発に研究を行っております。特に、大学院応用生物科学専攻では、現在、前期課程25名、後期課程4名の学生が在籍、研究活動の中心的役割りを果たしております。

(大谷 憲司)



平成10年度卒業生(卒業記念アルバムから)

支 部 だ よ り

山形県支部の近況

第7回山形県支部総会は平成11年2月20日天童温泉つるやにおいて、会員23名参加で開催されました。

櫻井副支部長による開会につづき、田中支部長挨拶新関博夫（獣医）議長により議事進行された。

議題は平成10年度経過報告、会計報告、監査報告、平成11年度予算案が提案され満場一致で承認された。

また、役員改選により田中支部長は顧問に推挙され新支部長木戸啓二（農学28年）副支部長櫻井麻男（畜産33年）同安達勇（農学33年）幹事長小松文嗣



（獣医39年）監事留任井上達磨（獣医33年）山口忠（食経34年）が選出承認されました。

次いで、恒例となった学科代表による講演会は林学科担当となり、後藤光浩氏（㈱後藤木材店専務）が『現在の木材動向と住宅事情について』と題し、国産及び外材について、住宅の工法や気密性、建主の求めるもの、ハウスメーカーと工務店の違い等今後新築或いは増改築する者にとって大変参考になる講演に参加者一同熱心に聞き入っていました。

今回の総会は参加人数も少なく、学部からの近況も聞けませんでした。懇親会においても例年の如く学科毎に近況と宣伝を交えた自己紹介が面白おかしく行われ、最後の参加者全員による校歌の斉唱と新旧役員に対するエールがあり、来年は知人帯同を誓って散会となりました。（小松 文嗣）

連絡先

〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘4-55
日本大学山形高等学校
TEL 023-641-6631 池田 卓郎

神奈川・農獣医部会

異常気象という言葉は、極端な冷夏とか暖冬の代



名詞に使われますが、今夏の全国的な猛暑・熱波、局地的な日照り豪雨による災害なども異常気象の結果ではないでしょうか。

神奈川県には、日本大学校友会神奈川県支部（北村邦彦支部長）、湘南桜門会（長野実会長）、農獣医部会の3つがある。

親会である県支部の総会・懇親会は、平成10年7月10日、ロイヤルホールヨコハマに400名が参集し、誠に盛会であった。

湘南桜門会は今年1月30日、藤沢グランドホテルにて開催、清水敬介教士（農学46年卒）による「武田流・流鏑馬について」の講演を拝聴し感銘を受けた次第である。同じ傘下にある組織の代表として出席し交流と親睦を深めております。

当部会の総会・親睦会は、12月12日、生物資源科学部NUSCホールに、門田学部長、山澤日大常務理事、茂澤学部長校友会長、北村県支部長、長野湘南桜門会長他多数の来賓、校友が集い盛会裡に終了した。

明年4月に農芸化学科と食品科学工学科、つづいて食品経済学科と国際地域開発学科が14年4月に東京校舎から湘南校舎へ移転し、21世紀を期してワンキャンパス時代に入ります。

神奈川県に立地する学部校友会部会として、益々発展しなければならないと思う。

今年度の総会・懇親会の日時は、改めてご案内申し上げますが、11月開催を予定しておりますので、友人お誘い合せの上、多数ご出席下さるようお願いしております。（会長 高坂 鉄雄）

連絡先

〒252-8510 藤沢市亀井野1866
日本大学短期大学部
環境生態学研究室
事務局長 浅野紘臣
TEL 0466-84-3747

山梨県支部の近況

本年は、平成12年秋に開催予定の県支部総会に向けて準備を進めておりますが、当面は来る10月の理事会の資料作成、来年1月の事務局会議、全会員へ発送する平成12年度分の文書事務等であります。

来年の県支部総会には本部校友会よりご送付下さった校友会創立五十周年記念ビデオを映写して県支部会員のご理解を得たいと思っております。

議題の中に平成10年9月の台風5号による大雨で大被害に遭った日大明誠高校の災害見舞いについて会員のご協力をお願いする予定です。このことについては、被害状況、その後の復興状況等二度にわたって新聞に掲載されました。

県支部としてもお見舞い状を差し上げましたが、学校長から早速お礼状が参りました。その後、全校一丸となつての災害復旧活動の報告書もいただきました。大変感激いたしました。

今後の更なるご発展を期待しております。

議題としては、平成8年夏に発刊いたしました県支部会員名簿が最低目標の300部を越えましたので、その特別会計を終結したいと考えております。又、役員改選、会費値上げ等も予定しております。県支部会員の積極的なご参加を願って事務局一同頑張っております。

(小越 昭雄)

山梨県支部看板前の小越支部長



連絡先 〒405-0017
山梨市下神内川187-1
山梨県支部長 小越 昭雄
TEL 0553-22-2400

高知県支部の近況

第11回高知県支部総会は、校友会本部から茂澤会長、学部から生物環境工学科の河野学科主任教授をお迎えして、平成11年8月28日、高知市の高知会館で多数の校友の参加を得て開催しました。

開会にあたり、支部会長から去る1月22日から25日にかけて実施した創立10周年記念事業、台湾支部との交流会について、校友会本部並びに支部校友の格段のご支援とご協力により、大変有意義で実りのある事業が実施できました事に感謝の意を述べられました。続いて、茂澤会長より校友会活動の近況報告、河野教授からは学部、学科の近況や高知県内で実施している調査研究活動についての紹介がありました。

引き続き、議事に移り(1)平成10年度の経過報告(2)平成10年度の会計報告・会計監査報告、さらに(3)平成11年度予算案を提案し、満場一致で承認されました。

続いて、来賓を囲んで懇親会を行い、盛会のうちに第11回総会を終了しました。

翌29日は、茂澤会長ほか校友有志で、日本最後の清流四万十川を訪ね、初秋の心地よい川風に吹かれながら、屋形船での川下りを行い、天然の鰻、手なが海老など四万十の恵みに舌鼓をうちながら楽しい1日を過ごしました。

(前川 卓也)



連絡先 〒780-0084
高知市南御座9-19
高知県支部事務局 前川 卓也
TEL 088-880-0538

台湾で大地震!!

9月21日未明、台湾中部を震源地に発生したマグニチュード7・6の大地震は、27日現在死者2,096人、負傷者8,713人、行方不明者150人、戦後最大の被害と台湾当局が発表した。被害は今後さらに増えるだろうと予想されています。私どもは台湾支部の校友をはじめ、台湾全土の皆様の方々の安否を、世界の人々と共に案じています。亡くなられた方々のご冥福と行方不明者の生存、そして負傷者の早急なご回復と被災地の復興をお祈りしています。

校 友 便 り

日本が協力する中国の緑化

あすなる会員 平成10年大学院森林科学専攻修了 黄 勝 澤
現在 (社) 海外林業コンサルティング協会 研究員

昨年の夏、長江流域を始め中国各地で発生した大洪水が日本でも話題になりました。今年も洪水の被害が深刻さを増しています。中国政府は頻発する大水害の起因の一つに河川流域の森林減少を挙げています。以来日本からの中国の環境保全や緑化事業に対する協力も増加傾向を示しています。その一つとして、つい先月中国訪問を終えた小渕首相が中国緑化を支援する100億円基金設置を発表したばかりです。

広大な国土を有する中国ですが、その国土の約3分の1は荒漠地であり、森林率は約13%にすぎません。毎年大陸から日本まで飛んでくる黄塵のことは日本でよく知られていますが、その元凶はいまだに拡大する砂漠化にあります。また、長江や黄河など大河川流域の森林の減少と劣化による土壌の流失は激しく、洪水誘発の一因になっています。このような現状を改善すべく、中国政府は大規模な環境保全のための保安林造成と現有天然林保護事業を推進しています。地球環境を考えると、この緑化事業は中国

だけにとどまる問題ではないと認識した国際社会は、中国の緑化事業に種々の協力をはじめています。

このような社会環境の変化を振り返り考えると、私が日本に来た10年前のことが思い出されます。それまで私は延辺大学林学科の講師でした。日本に留学が決まりましたとき、多く中国の友人の意見は建築、土木、コンピューターなど先端技術を学ぶことが重要であるとのことでした。

しかし、なぜかそのような気持ちにはなれませんでした。世界が環境保全に向けて努力を傾ける時代になり森林再生が求められる現在、自分自身の意思に従い進路を決定し、専門の分野で中国と日本の橋わたしの仕事に従事できたことは人生における最高の喜びであると感謝しています。

また、大学において、若い学生と共に学び研究することは国境を越えた相互の理解が容易に得られます。中国の広大な砂漠拡大の現場に立ちますと日本大学に学ぶ中国人留学生が増えることを願ってやみません。



中国の砂漠拡大地域

日本大学生物資源科学部・農獣医学部校友会役員・事務局名簿

名誉会長	門田定美(水産・海洋)	日本大学生物資源科学部長	〃	斎藤公三(農工・環工)	日本大学生物資源科学部
会長	茂澤 杲(農化)	㈱モザワ	〃	関村具由(食工・食科)	三凱商事
副会長	富澤 寿樹(短農)	㈱マルナカ	〃	大瀧博久(食工・食科)	日新化工㈱
〃	近藤良三郎(拓植・国際)		〃	竹永章生(食工・食科)	日本大学生物資源科学部
〃	村田 昇(農工・環工)	中央開発㈱	〃	水野包男(拓植・国際)	㈱協和組
幹事	楠元 守(短農・植物)	日本大学生物資源科学部	〃	浜口喜博(拓植・国際)	
〃	浅川廣治(農学・植物)	日本大学第二高等学校	〃	鈴木 勝 春(短農)	神奈川県畜産会
〃	米田和夫(農学・植物)	日本大学生物資源科学部	〃	富 樫 利 男(短農)	
〃	江 刺 琢 磨(農化)		〃	岡 崎 祥 子(短生)	住友銀行
〃	木 嶋 弘 倫(農化)	豊産産業㈱	〃	清 水 由 佳(短生)	
〃	日比野 次郎(獣医)	獣医医院	〃	飯 塚 統(短生)	日本大学短期大学部
〃	中 川 秀 樹(獣医)	獣医医院	〃	大 谷 憲 司(応生)	㈱スリオンテック
〃	月 瀬 東(獣医)	日本大学生物資源科学部	〃	飯 塚 崇(応生)	理研香料㈱
〃	岩間 脩(畜産・動物)	ベッカス商事㈱	〃	長 岐 清 孝(応生)	
〃	内田駿一(畜産・動物)	㈱京王百貨店	監査	山 根 勝 次(食経)	日本大学講師
〃	宮原晃義(畜産・動物)	日本大学生物資源科学部	〃	西山栄一(農学・植物)	㈱藤商店(自営)
〃	村 山 進(食経)	㈱コストムヨシダ	〃	野田郁夫(林学・森林)	昭和エーテル㈱
〃	千 田 徹(食経)	千田税理士事務所	会長賞 選考委員	水 野 包 男(拓植)	㈱協和組
〃	下 渡 敏 治(食経)	日本大学生物資源科学部	〃	小 泉 香 織(短生)	㈱富士通ソーシアルシステムエンジニアリング
〃	鹿野 忠(林学・森林)		〃	江 刺 琢 磨(農化)	
〃	宮島吉夫(林学・森林)	農林漁業信用基金	[事務局]		
〃	石垣逸朗(林学・森林)	日本大学生物資源科学部	事務局長	木村貞司(畜産・動物)	日本大学生物資源科学部
〃	竹内 均(水産・海洋)	竹内商事	局 員	本江一郎(林学・森林)	日本大学生物資源科学部
〃	櫻木 進(水産・海洋)	㈱ケイエスビー コミュニティ	〃	世良田和寛(農工・環工)	日本大学生物資源科学部
〃	小橋二夫(水産・海洋)	日本大学生物資源科学部	〃	丹羽美次(畜産・動物)	日本大学生物資源科学部
〃	鈴木昌二(農工・環工)	世田谷区議会議員	〃	千野 誠(食工・食科)	日本大学生物資源科学部

会報編集委員

農学	校友	学生会	井上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明	上弘明
----	----	-----	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

発行所 日本大学生物資源科学部・農獣医学部校友会

(湘南校舎) 〒252-8510 神奈川県藤沢市亀井野1866
 (東京校舎) 〒154-8513 東京都世田谷区下馬3の34の1
 電 話 03-3421-8332
 F A X 03-3421-4744
 Eメール brs-kouyuukai@ma4.justnet.ne.jp

編集・発行 会報編集委員会

委員長 富澤 寿樹

印刷所 東京商工株式会社